

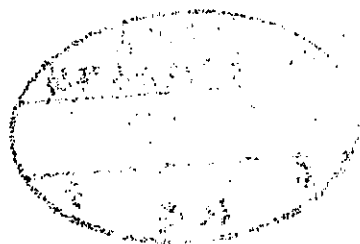
支出項目

政務活動費

調査研究費

No.1

29 月	年 日	内容	支出額 (円)	累計額 (円)
7	12	行政視察 (北海道室蘭市、札幌市、函館市)	790,940	790,940
7	12	視察代	20,000	810,940
11	8	第79回全国都市問題会議 (沖縄県那覇市)	545,614	1,356,554
		合計	1,356,554	



出張旅費計算書

摘要	自由民主党茅ヶ崎市議団 北海道(室蘭市、札幌市、函館市) (政務活動費)		出張者氏名	水島誠司、永田輝樹 榎木太郎、広瀬忠夫 岩田はるみ、小島勝己 水本定弘			
期日	平成29年7月12日から 平成29年7月14日まで 2泊3日		随行者氏名				
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)	
茅ヶ崎—横浜 (JR東海道本線)	1	1	29.8	500	-	39,450	
横浜—京急蒲田 (京急本線)			20.7	480			
京急蒲田—羽田空谷国内線ターミナル (京急空港線)							
羽田空港—新千歳空港 (ANA55便)			894.0	32,590			
新千歳空港—札幌 (JR快速エアポート113号)			46.6	1,070			
札幌—東室蘭 (JR特急すずらん8号)			129.2	2,490			2,320
東室蘭—室蘭 (JR室蘭本線)	1	1	7.0	220	-	6,570	
室蘭—東室蘭 (JR室蘭本線)			7.0	3,670			
東室蘭—函館 (JR特急スーパー北斗14号)			189.5				2,680
函館—新函館北斗 (JR特急北斗17号)	1	-	17.9	12,210	-	23,340	
新函館北斗—東京 (JR新幹線はやぶさ34号)			862.5				11,130
東京—茅ヶ崎 (JR東海道本線)			58.6				-
計	3	2	2,262.8	53,230	16,130	(A) 69,360	
日当	3	日×@	2,400	(B) 7,200			
宿泊料	1	日×@	(1泊朝食付き) 11490	(C) 11,490			
宿泊料	1	日×@	(1泊朝食付き) 8640	(D) 8,640			
夕食代	2	日×@	2000	(E) 4,000			
合計	(A) + (B) + (C) + (D) + (E)		100,690	×	7	人 704,830	

出張旅費計算書

摘要	自由民主党茅ヶ崎市議団 北海道(室蘭市、札幌市) (政務活動費)		出張者 氏名	小川裕暉			
期日	平成29年7月12日から 平成29年7月13日まで 1泊2日		随行者 氏名				
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)	
茅ヶ崎—横浜 (JR東海道本線)	1	1	29.8	500	-	39,450	
横浜—京急蒲田 (京急本線)			20.7	480			
京急蒲田—羽田空谷国内線ターミナル (京急空港線)							
羽田空港—新千歳空港 (ANA55便)			894.0	32,590			
新千歳空港—札幌 (JR快速エアポート113号)			46.6	1,070			
札幌—東室蘭 (JRすずらん8号)			129.2	2,490			2,320
東室蘭—室蘭 (JR室蘭本線)	1	-	7.0	220	-	28,370	
室蘭—東室蘭 (JR室蘭本線)			7.0				
東室蘭—南千歳 (JR特急スーパー北斗11号)			85.2	1,980			
南千歳—新千歳空港 (JR快速エアポート150号)			2.6				
新千歳空港—羽田空港 (ANA70便)			894.0	25,190			
羽田空港国内線ターミナル—京急蒲田 (京急空港線エアポート急行)			6.5				480
京急蒲田—横浜 (京急本線特急)			14.2				
横浜—茅ヶ崎 (JR東海道本線)			29.8	500			
計	2	1	2,166.6	65,500	2,320	(A) 67,820	
日当	2	日×@	2,400		(B)	4,800	
宿泊料	1	日×@	(1泊朝食付き) 11490		(C)	11,490	
夕食代	1	日×@	2000		(D)	2,000	
合計	(A) + (B) + (C) + (D)			×	人	86,110	
	86,110			×	1		

No 201707130085

領収書
(RECEIPT)

お名前
NAME 茅ヶ崎自民党市議団 様

発行日
ISSUED 2017/07/13



領収金額
BALANCE DUE 91,920

上記金額には消費税が含まれております

ドーマーイン東室蘭

〒050-0074 北海道室蘭市中島町2-30-11

TEL 0143-41-5489 FAX 0143-45-7080

http://www.hotespa.net/business/

請求明細書
(STATEMENT)

お名前
NAME 茅ヶ崎自民党市議団 様

部屋番号 ROOM NO.	到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	発行日 ISSUED	宿泊人数 PERSON
9003	17/07/12	17/07/13	2017/07/13	8

日付 DATE	摘 要 DESCRIPTION	金額 AMOUNT	お支払 BALANCE
07/12	宿泊費	91,920	
07/12	前受金(現金)		91,920

No. 201707130085 - 025 - 35

ご署名

会社名

利用金額 TOTAL AMOUNT	91,920	支払金額 TOTAL BALANCE	91,920
請求残高 BALANCE DUE			0

No. 432804

領収書

自由民主党茅ヶ崎市義団 様

金額	¥	6	0	4	8	0	千	円
----	---	---	---	---	---	---	---	---

但し 宿泊料金・駐車料金

1泊 7名 振分 とし

上記の金額を領収いたしました。

- ・現金
- ・クレジット
- ・その他 ()

29年 7月 13日

取入印紙

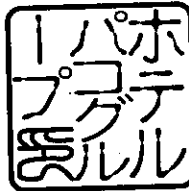
200円

発行者

ホテルパコグループ

帯広2・帯広3・釧路

函館・北見



領 収 証 自由民主党 札幌市議団 様 No. 2177

720,000 -

内 訳	
現金	
小切手	/
手形	/
消費税額等	8%

但 視察代として (@2,500円×8名)

収入印紙

2017年 7 月 12 日 上記正に領収いたしました

〒060-0003
 札幌市中央区北3条西3丁目1番地 札幌駅前ビル
 札幌駅前通まちづくり株式会社

TEL: 011-211-8281
 FAX: 011-211-8282



コクヨ 045-92



出張旅費計算書

摘要	自由民主党茅ヶ崎市議団 沖縄県那覇市 (政務活動費)	出張者氏名	水島誠司、永田輝樹 広瀬忠夫、岩田はるみ 小島勝己、水本定弘			
期日	平成29年11月8日から 平成29年11月10日まで 2泊3日	随行者氏名	/			
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎—横浜 (JR東海道本線)	1	1	29.8	500	-	15,230
横浜—羽田空港国内線ターミナル (京急本線エアポート急行)			20.7	480		
羽田空港—那覇空港 (ANA473便)			1,687	13,990		
那覇空港—県庁前 (ゆいレール)			6.0	260		
県庁前—奥武山公園 (ゆいレール)	1	1	2.2	230	-	460
奥武山公園—県庁前 (ゆいレール)			2.2	230		
県庁前—奥武山公園 (ゆいレール)	1	-	2.2	230	-	23,760
奥武山公園—那覇空港 (ゆいレール)			3.8	260		
那覇空港—羽田空港 (JAL912便)			1,687.0	22,290		
羽田空港国内線ターミナル—横浜 (京急本線エアポート急行)			20.7	480		
横浜—茅ヶ崎 (JR東海道本線)			29.8	500		
計	3	2	3,491.4	39,450	0	(A) 39,450
日当	3	日 × @	2,400	(B) 7,200		
宿泊料	2	日 × @	(1泊朝食付き) 10000	(C) 20,000		
参加費						(D) 10,000
夕食代	2	日 × @	2,000	(E) 4,000		
合計	(A) + (B) + (C) + (D) + (E) × 6 人					483,900

出張旅費計算書

摘要	自由民主党茅ヶ崎市議団 沖縄県那覇市 (政務活動費)	出張者 氏名	桧木太郎、小川裕暉			
期日	平成29年11月8日から 平成29年11月9日まで 1泊2日	随行者 氏名	/			
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎—横浜 (JR東海道本線)	1	1	29.8	500	-	15,230
横浜—羽田空港国内線ターミナル (京急本線エアポート急行)			20.7	480		
羽田空港—那覇空港 (ANA473便)			1,687	13,990		
那覇空港—県庁前 (ゆいレール)			6.0	260		
県庁前—奥武山公園 (ゆいレール)	1	-	2.2	230	-	19,360
奥武山公園—那覇空港 (ゆいレール)			3.8	260		
那覇空港—羽田空港 (ANA474便)			1,687.0	17,890		
羽田空港国内線ターミナル—横浜 (京急本線エアポート急行)			20.7	480		
横浜—茅ヶ崎 (JR東海道本線)			29.8	500		
計	2	1	3,487.0	34,590	0	(A) 34,590
日当	2	日 × @	2,400	(B) 4,800		
宿泊料	1	日 × @	(1泊朝食付き) 10000	(C) 10,000		
参加費						(D) 10,000
夕食代	1	日 × @	2,000	(E) 2,000		
合計	(A) + (B) + (C) + (D) + (E)			×	2	人
	61,390			122,780		

↓
 1人
 桧木議員センターのため
 61,390円税別

2017/11/08

領収証

領収証名 自由民主党茅ヶ崎市議団 様

領収金額 **¥130,000-**
(内消費税 ¥9,629-)

但し、ご宿泊代金として上記金額を
現金で領収しました。

APA HOTELS & RESORTS

アパホテル<那覇>

〒900-0032
沖縄県那覇市松山1-4-16
TEL:(098)868-9111
FAX:(098)868-9411

担当者



171108000431936

第79回全国都市問題会議

求書

受付番号 209

自由民主党茅ヶ崎市議団 様

株式会社JTB沖縄
那覇市おもろまち4-19-30新都心DLビル3階
代表取締役社長 杉本 健次



発行日 2017年10月13日
請求番号 126592-002-00306

下記の通りご請求申し上げます。期日までにお支払下さいますようお願いいたします。

請求金額合計(税込) ¥80,000 入金期日: 2017年10月31日

(ご請求額内訳)			
宿泊代金	-	航空代金	-
分科会費	-	懇親会費	-
大会参加費	¥80,000	チャトルバス代金	-
取消料	-	保険料	-
宿泊費②	-	観光代金	-
		弁当代金	-
		事務手数料	-
		宿泊費①	-
		その他	-
(ご入金内訳)		ご返金	
	お預り金		

お問合せ先
JTBコンベンションサポートセンター
TEL:092-751-2102
担当: [Redacted]

振込先
銀行名: みずほ銀行 那覇支店
口座番号: 普通預金 1348092
名義人: カ)JTBオキナワ

第79回全国都市問題会議

【明細書】

受付番号	209	自由民主党茅ヶ崎市議団	請求金額(税込)	¥80,000
------	-----	-------------	----------	---------

受付番号	209 - 1	水島 誠司 様
------	---------	---------

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
個人合計				¥10,000

受付番号	209 - 2	永田 輝樹 様
------	---------	---------

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
個人合計				¥10,000

受付番号	209 - 3	柁木 太郎 様
------	---------	---------

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
個人合計				¥10,000

受付番号	209 - 4	広瀬 忠夫 様
------	---------	---------

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
個人合計				¥10,000

受付番号	209 - 5	岩田 はるみ 様
------	---------	----------

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
個人合計				¥10,000

受付番号	209 - 6	小島 勝己 様
------	---------	---------

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
個人合計				¥10,000

受付番号	209 - 7	水本 定弘 様
------	---------	---------

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
個人合計				¥10,000

第79回全国都市問題会議

【明細書】

受付番号 209 - 8 小川 裕暉 様

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
		個人合計		¥10,000

MIZUHO

みずほATMコーナー | ご利用明細票

ご利用ありがとうございます。
内容をご確認のうえ、必ずお持ち帰りください。

みずほ銀行

お取引日 29-10-24	振込・振替等の口座番号 普通
店舗番号 *****	お取引口座番号 *****
振込手数料 **324	お取引金額 *****80,000
お取引内容 電信振込	お取引後残高 *****
前記 1121	お取扱店番号 オツリ*****

茅ヶ崎
現金感覚で使える、みずほJCBデ
ビット取扱中！くわしくは窓口まで

みずほ銀行
那覇支店
カ)JTBOキナワ 様
シユウミンシユトウチカ サキシキタ
ソ 様
0467-87-1529

5358

裏面に「みずほ」からのお知らせがあります。

手数料込み
¥ 80324

第79回全国都市問題会議のキャンセルについて

10月31日付けでキャンセルのご連絡をさせていただきました件で、参加費の払い戻し口座のご連絡をいたします。

○受付No.209

○対象者：自由民主党茅ヶ崎市議団 榎木 太郎

○口座：横浜銀行 茅ヶ崎支店
普通預金

自由民主党茅ヶ崎市議団 代表 水島 誠司

(ジユウミンシュトウ チガサキシギダン ダイヒョウ ミズシマ セイジ)

第19回全国都市問題会議
3 参加費返金



年月日	摘要	お支払い金額(円)	お預かり金額(円)	差し引き残高(円)
1 29-11-06	口座振替	*20,628	リコーリース(カ)	*679,620
2 29-11-07	クレジット	*23,436	HC)HCNBLリース	*656,184
3 29-11-30	振込	カ.シエ行イービーオー	*10,000	*666,184
4 29-12-04	口座振替	*20,628	リコーリース(カ)	*645,556
5 29-12-07	クレジット	*23,436	HC)HCNBLリース	*622,120
6 30-01-04	口座振替	*20,628	リコーリース(カ)	*601,492
7 30-01-09	クレジット	*23,436	HC)HCNBLリース	*578,056
8 30-02-05	口座振替	*20,628	リコーリース(カ)	*557,428
9 30-02-07	クレジット	*23,436	HC)HCNBLリース	*533,992
10 30-02-17	お利息		*2	*533,994
11 30-03-05	口座振替	*20,628	リコーリース(カ)	*513,366
12 30-03-07	クレジット	*23,436	HC)HCNBLリース	*489,930
13 30-03-28*	自動機	*380,000		*109,930
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

【記号のご説明】

1. 証券類をご入金のときはお支払い金額欄などにつぎの記号およびその払い戻しができる予定日が表示されます。
 なお、その払い戻しができる予定日時はつぎのとおりです。
 C1.....ご入金日の翌営業日(午後1時30分から)
 C2.....ご入金日の翌々営業日(午後1時30分から)
 C3.....ご入金日からおおよそ5営業日(午前9時から)

2. トリタテ1.....ご入金日の翌営業日(午後1時30分から)
 トリタテ2.....ご入金日の翌々営業日(午前9時から)
 証券類によるお振込金の場合も前記に準じて取り扱います。
 2. 窓口でのお取引で通帳のご提出のあるときや、現金三動
 入出金機でのお取引で通帳をご利用のときには、年月日欄
 に*と表示します。

政務活動報告書

平成29年7月18日

茅ヶ崎市議会議長
白川 静子 様

(会派名) 自由民主党茅ヶ崎市議団

(氏名) 水島誠司 永田輝樹 榎木太郎
広瀬忠夫 岩田はるみ 小島勝己
水本定弘 小川裕暉

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	平成29年7月12日(水)～14日(金) 2泊3日
目的地 (研修地)	北海道札幌市、室蘭市、函館市
政務活動の結果(別紙のとおり)	



自民党茅ヶ崎市議団視察報告書

報告者：水島誠司

日時：平成29年7月12日

場所：札幌駅前通まちづくり株式会社

視察項目

1. 札幌駅前通りのまちづくり（活性化）について

説明者：札幌市まちづくり政策局 担当係長 [REDACTED] 様

札幌市まちづくり政策局 都心まちづくり課 [REDACTED] 様

札幌駅前通まちづくり株式会社

総括 マネージャー [REDACTED] 様

札幌市概要と歴史

人口 1,962,630人（平成29年7月1日現在）

世帯数 942,331世帯

面積 1,121.26km²

アイヌの人たちが住んでいた蝦夷（えぞ）地は、明治2年（1869年）に北海道と改称されて、開拓使が置かれ札幌本府の建設が始まりました。判官・島義勇（しまよしたけ）は、円山の丘からはるか東方を見渡し、街づくりの構想を練ったといわれています。明治8年（1875年）、最初の屯田兵が入植。人々は遠大な札幌建設計画に基づいて、鉄道を敷き、産業を興して、道都・札幌を築いてきた。大正11年（1922年）の市制施行以来、近隣町村との度重なる合併・編入によって、市域・人口を拡大してきた札幌市は、昭和45年（1970年）には人口が100万人を突破し、2年後の昭和47年（1972年）に政令指定都市へ移行している。

視察目的

少子高齢化と人口減少が急速に進む社会情勢とわが市の厳しい財政状況の中「選ばれるまち」になるためにどのような施策を展開しながら、わが市の税収増加を図るのかこれまで申し上げて来たところである。そこで、観光政策、地域経済の活性化、にぎわい創出等に取り組む札幌市も出資している札幌駅前通まちづくり株式会社の先進事例を視察することとした。

3 札幌駅前通まちづくり株式会社

(1) まちづくり会社設立の経緯

札幌駅前通まちづくり株式会社は、2010年9月に札幌駅前通に関係のある企業17社・団体により設立されたもので、「地域をエリアマネジメントする会社を、関係者自らが出資し創設しよう」とするものです。約3年間の検討期間を経てスタート。

私見

全国で4番目の人口を有する北海道の政治・経済の中心部となる都市で若い街となっている札幌市の観光分野の人気が高いところから札幌市を選んだ。今回調査させて頂いた札幌駅前通りまちづくり株式会社については行政・地権者・テナント・市民の協働で組織されており大変活発な取り組みであった。エリアマネジメントとして1日約7万人が利用する札幌駅前通地下歩行空間（愛称：チ・カ・ホ）を利用した管理事業については多様な人たちが喜ばれ利用されていた。壁面スペースを使った広告事業や貸し出しスペースを使った観光PRや地元アーティストが企画するアートプロジェクトなどかなりの賑わいを創出しているところなど本市でも取り入れることは可能ではないかと思う。これまでの事業で終わらせないため人材育成事業（シンクスクール）にも踏み込み今後の様々なネットワーク作りにも力を入れており、参加者には公務員もいた。受講生の関心はまちづくりと答えているところは今後の将来性に注目していきたい。また、卒業した人たちは何かしらの形で、このまちづくり株式会社の事業に携わってもらうことを考えているとのことで確保した人材もしっかり手放さないよう努力していた。今回の視察では道路空間、地下歩行空間を利用しながら企業、団体、市民を巻き込みながらうまく魅力を発信しているところは特に参考にしていきたい。

平成 29 年 7 月 18 日

小川裕暉

平成 29 年 7 月 13 日（木）の室蘭市での行政視察について報告いたします。

テーマ：10 時～ 北海道新幹線開通に伴うまちの活性化について

13 時～ PCB 廃棄物処理施設見学

説 明：室蘭市 経済部 観光課
課長 ████████ 様
室蘭市 経済部 観光課
主幹 ████████ 様
議会事務局 事務局長
██████████ 様
J A S C O (P C B) 様

室蘭市概要

人口	平成 28 年 4 月 1 日現在 86,394 人 (男：41,340 人、女：45,054 人)
世帯数	46,306 世帯
市制施行	大正 11 年 8 月 1 日
面積	80.65 km ²
地名由来	アイヌ語の「モ・ルエラニ」(小さな坂道を下りたところ)という意味から
名物	室蘭やきとり、カレーラーメンなどが有名

白鳥大橋が出来たおかげで、室蘭市全域での回遊性と利便性が向上した。そのおかげで、市内全域にわたる観光スポットや名所を巡りやすくなり、観光客の増加につながった。また、2018 年 6 月より岩手県の宮古と室蘭を結ぶフェリーが開設予定とのことで、陸から海から空から集客が可能になり、今後の観光客増加にも期待出来るところです。

ピーク時には(昭和 45 年)、人口 162,059 人、世帯数 46,414 世帯があったが、産業衰退や大企業の合理化と共に年々減少し、上

記の人口、世帯数となる。

尚、水素エネルギー利活用の取り組みにも力を注いでおります（添付資料）

一般会計予算財源 内訳

自主財源：18,092,949,000円

依存財源：26,145,051,000円

合計：44,238,000,000円

財政指数（28年度決算に基づく）

財政力指数 0.60 経常収支比率 93.0%

1・室蘭市の観光について

- ・向上の夜景をはじめ自然景観・グルメ・物づくりなど連携
- ・広域連携や各種団体等との連携

夜景を中心とし、グルメ・歴史・自然景観・まちなみ・物づくりにおいて連携し発信している。

白鳥大橋については、主塔のライトアップと228個のイルミネーションによる夜景スポットとなっている。電力は風力発電により供給。

測量山ライトアップについては、市民団体「室蘭ルネッサンス」との協働において実施、1回4,000円で誕生日や結婚式等の祝い事や転出入あいさつ、会社創立などの記念に点灯を市民が出来る。28年4月14日には連続点灯10,000日達成、今現在も更新中。人口流出が続き、沈みがちな心を吹き飛ばすために始まった。

夜景を見るために、行政・観光協会・バス会社の連携で「夜景見学バス」事業や、民間による「ナイトクルージング」事業が展開されている。

（添付資料）

その他、一本桜やイルカウォッチング、明治に建てられた旧駅舎などが観光スポットとして人気がある。また、食の文化では「室蘭やきとり」

や「カレーラーメン」などは室蘭で名物とされており、独自の文化として他にはない変化をみせている。

撮りFESなどの、まちに対流性をもたらす取り組みもしている（添付資料）

2・北海道新幹線開業に向けての取り組みについて

北海道新幹線は、今現在 函館までの開業の中、今後札幌まで延伸する。室蘭市は、新幹線が通る予定の函館・札幌間の中間と言うよりだいぶ南に位置している。そんな関係で、単体では限界があると認識し平成26年に室蘭市、苫小牧市、登別市、伊達市の4市と近隣の14町で構成する、北海道新幹線×n i t t a n地域戦略会議を立ち上げた。目的は交流人口拡大へ向けた取り組みを行っている。

室蘭は、洞爺湖と登別に挟まれていて、現在は通過交通化している。

この取り組み（チャンス）の中で、うちからの魅力をリサーチしながら発信する事により、市民自身も魅力を感じ観光事業への理解や協力、取り組みを積極的に行うことになる。更なる発展のために、単体では限界だが、4市14町全域で取り組む北海道新幹線×n i t t a n地域戦略会議は、新幹線が通るルートに対し、面で勝負が出来、新たな魅力発信が出来るメリットがあり期待できる。

3・観光拠点づくりの取り組みについて

・道の駅

もともと博物館だった施設を「道の駅」として利活用している。新たな観光拠点として、指定管理者の運営の元行われている。課題は、来客数の維持（道の駅単体では、飽きられてしまう）、増加。

そこで、室蘭道の駅では広域化の中において、この地域一帯でほとんどの用が足りる様にと白鳥大橋パークゴルフ場や屋台村、むろらん温泉、マリーナ、臨海公園や水族館が周辺にあり集客数を維持し増加に繋げている。

・撮りFES（添付資料）

観光スポットに行くだけで、その後は室蘭を離れてしまうのを防ぐ為に始まった、撮りFES。これは、24時間滞在し、室蘭にある物や人物

、場所等何でも被写体としてよいコンクールの事業です。
一人 2,000円の参加費を払い撮影する、普段行けない場所の開放や、人物などが撮れるとして人気が出てきた。前は約300人の道内外の人々による参加があった。
人物も撮影可としているので、市民が撮られる側としての意識向上につながり、まちの魅力発進力の強化にもなっている。

4・PCB 廃棄物処理施設見学 (添付資料)

PCBとは、熱に強く絶縁性が高いなど使いやすい物質と言うことで、かつては蛍光灯、熱カーボン紙、トランスやコンデンサなど様々な養豚に使われておりました。

しかし、カネミ油症事件を始めとして非常に強い毒性を持つことが判明してからは使用・製造が禁止されました。

国が責任を持ってPCBを処理することとなり全国5ヶ所に処理施設が設置されました。

室蘭市にある処理施設は、1都1道18県のPCB廃棄物の処理を行っております。

受け入れしている自治体

北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・茨城県
栃木県・群馬県・新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県
(東京都)・(千葉県)・(埼玉県)・(神奈川県)

※ () は安定器等汚染物の処理のみ受け入れている

処理事業者：JESCO

5・感想 (私見)

白鳥大橋が出来たおかげで、市全域での回遊性と利便性が向上した室蘭市は、人口減少の激しい中に逆手にとった施策を考え挑戦している。
市内全域にわたる観光スポットや名所を、ただの観光ポイントとしてではなく、市内に滞留させる方法を「撮りFES」を用いて展開している。そのおかげで、市民の撮られる側の意識を向上させることが出来た。これは

行政と市民が一体となって、室蘭の魅力を発信する事により、郷土愛の向上にもつながる。人・物・場所が一体となった観光資源は他にはない取り組みだと思ふ。茅ヶ崎においても、人物や建物、場所といった文化的遺産や著名人がいるなかで「撮りFES」的な市内に滞留する取り組みを考えると経済効果は大きいと考える。

北海道新幹線開業に向けての取り組みについては、今現在函館までの開業の中、今後札幌まで延伸する予定である。

室蘭市は、新幹線が通る予定の函館・札幌間のルート場ではなく、だいたい東南方向に位置している。また室蘭は、洞爺湖と登別に挟まれていて、現在は通過交通化している。

そんな関係で、単体では限界があると認識し平成26年に室蘭市、苫小牧市、登別市、伊達市の4市と近隣の14町で構成する、北海道新幹線×n i t t a n地域戦略会議を立ち上げた。目的は交流人口拡大へ向けた取り組みを行い、いかに新幹線開通による恩恵を市内に流通させるかを協議しているとのこと。

この取り組みは、通過交通化している室蘭にとってはチャンスと捉えていて、市内の魅力をリサーチしながら協働全域で発信している。

市民自身も、地域愛の向上のおかげで観光事業への理解や協力、取り組みを積極的に行うことになる。更なる発展のために、新幹線が通るルートに対し、協働地域全域という面で勝負が出来、北海道にて新たな地域魅力を発信している。

茅ヶ崎市においては、縦貫道が開通し今では北関東方面からも集客が見込まれる。しかし、室蘭同様に通過交通化していることが現状に課題としてある。茅ヶ崎にいかに滞留させるかがポイントとなる、道の駅の建設が予定されているが、はたして道の駅単体で通過交通かを防げるか・・・疑問である。室蘭は新たな観光拠点として、道の駅を捉えている。

道の駅単体では、飽きられてしまうと考えるいろいろな施設を併設することによる滞留効果と、来場者数増加を果たしている。

茅ヶ崎においても、単なる道の駅建設ではなく、スポーツ公園・柳島キャンプ場、もしくは湘南海岸やゴルフ場までを一体として発信し、宿泊施設まで考慮した集客をしていかなければ、いずれ負の遺産化する可能性もある。

室蘭は、北海道ブランドの中に位置している、茅ヶ崎は湘南ブランドの中に位置している、その関係性の中でブランド力を強化する事は必須、ブランドだけでは経済効果は向上しない、しっかりと自治体の考えを発信していかなければならないと感じています。

自由民主党茅ヶ崎市議団視察

函館市報告書



視察期日 : 平成29年7月12日水曜日 ~ 14日金曜日 2泊3日

視察先 : 札幌市まちづくり政策局 北海道札幌市中央区北1条2丁目
室蘭市議会 北海道室蘭市幸町1番2号
函館市議会 北海道函館市東雲町4番13号

視察者 : 氏 名
代表 水 島 誠 司
副代表 永 田 輝 樹
小 島 勝 巳
広 瀬 忠 夫
岩 田 は る み
桎 木 太 郎
水 本 定 弘
小 川 裕 揮

報告者 : 水 本 定 弘

目 次

函館市視察報告	1 p
視 察 目 的	1 p
視 察 期 日	1 p
説 明 者	1 p
市 概 況	1 p
世 帯 数	2 p
人 口	2 p
北海道新幹線開業に向けた これまでの取り組み	2 p
地域活性化に向けた主な インフラの整備事業の規模	2 p
地域活性化に向けた主なイベント	3 p
青函圏観光都市会議の創設	3 p
役所に観光部観光課が設置されている	3 p
少子高齢化と高齢者対策の課題解決 に向けた地域活性化の取り組み	3 p
所 感	3 p
そ の 他 (画 像)	4 p～5 p
そ の 他 (資 料 添 付)	6 p～




【函館市視察報告】

視察目的 : 北海道新幹線の開通により陸路での移動も可能になった北海道。2030年には札幌まで延長される予定である。今回の視察は、今後さらなる地域経済の発展が期待される道南を中心に、「交通」はもちろんのこと、「基礎自治体の組織力」、「地域ブランド開発」など、様々な視点に立ち視察を行った。

視察3日目の函館市は民間調査ランキング（株式会社ブランド総合研究所発表）では、2016年函館市は魅力度第1位、観光意欲度第1位を獲得したのをはじめ、地域の活性化に向けて、様々な取り組みを行っており、現在直面している超高齢社会と人口減少を踏まえて、同市の「北海道新幹線開通に伴うまちの活性化について」現状や、課題解決に向けた「行政」と「民間企業」、「市民」の関わり方等を視察することで、人口微増が続いている茅ヶ崎市において、圏央道開通に伴うまちの活性化を推進するうえで極めて重要である。

また、函館市議会と茅ヶ崎市議会との友好関係を築くことで、さらなる両市の発展に繋げることを目的とする。

視察期日 : 第3日目 平成29年7月14日 金曜日 14時00分～15時30分

説明者 :  函館市議会事務局 次長
 函館市企画部計画推進室計画調整課 主査
 函館市議会事務局 議事調査課 主事

市概況 : 沿革 函館市は北海道の南西部渡島半島の南端に位置し、安政6年（1858年）、横浜、長崎とともに日本初の国際貿易港として開かれて以来、早くから海外との交流が始まり、近代日本の幕開けと同時に、いち早く外国文化に触れて以来、市民の中にも国際感覚が息づく、長い歴史と文化を有し、明治32年（1899年）に自治制の函館区となり、大正11年（1922年）に市制施行、昭和5年（1930年）には、人口197,252人を擁し、古くから北洋漁業の基地及び、交通の要衝として栄え、今なお南北海道における行政、経済、文化の中心地として、発展を続けている。

交通面では、昭和63年（1988年）の青函トンネル開業をはじめ、北海道新幹線が28年3月に開業した事や、北海道縦貫自動車道の整備など、交通の再整備が行われ時間軸の縮小を目指している。

行政面では、平成12年に特例市の指定を受け、平成17年には中核市に移行し、多くの事務権限が移譲され、市民へのサービス提供とともに、地域特性を活かした施策を行いながら、「ふれあいとやさしさに包まれた世界都市」の実現に向けた取り組みを行っている。

世帯数	143,810世帯
人口	265,979人
年少人口（0歳から14歳）	27,131人（10.2%）
生産年齢人口（15歳から64歳）	152,154人（57.2%）
高齢人口（65歳以上）	85,931人（32.2%）

※2015年国勢調査時

1. 北海道新幹線開業に向けたこれまでの取り組み

北海道新幹線を見据え、「函館市中心街地活性化基本計画（H25～H29）」に基づき、中心街地のにぎわいを創出する様々な取り組み（57事業）を民間及び行政で推進している。計画の基本コンセプト「市民生活と歴史・文化、観光が融合した回遊性の高いまち」として、函館駅前 大門地区から、特別史跡五稜郭 梁川地区までの約200ha（最長約4km×幅約1km）に、地区別に道路整備、商業施設、公益施設、集合住宅などを一体化した高層ビルの開発や、函館駅前市有地整備事業、函館本町地区優良建築物等整備事業、アリーナ（スポーツコンベンション施設）、大型多目的のフットボールパークなどを建設し、函館のイメージを、「北洋の漁業と観光のまち」に加えて「文化、スポーツ」といった新しい付加価値をつけながら、観光事業の更なる発展と、人口減少、高齢者対策といった地域課題解決に向けた工夫を官民協働で行っている。

また、RESAS＝地域経済分析システムにより、北海道のハブ地として、有名人を起用した広域4市（青森市、弘前市、八戸市、函館市）の観光エリア連携と、ゴールデンルート（青森市、登別市、札幌市）などとも連携したPRにより国内外の観光客を誘致している。

2. 地域活性化に向けた主なインフラの整備事業の規模

■函館駅前市有地整備事業

ホテル棟と商業棟の施設 平成31年オープン予定

■函館本町地区優良建築物等整備事業

商業施設1～3階、公共施設4階 集合住宅5～19階

■函館アリーナ（スポーツコンベンション施設） 平成27年8月オープン

メインアリーナ、サブアリーナからなり、収容最大5,000人規模

■大型多目的のフットボールパーク 平成27年8月オープン

未利用になっていた高校跡地に建設

サッカー、ラグビー兼用 人工芝2面、フットサルコート3面 クラブハウス

3. 地域活性化に向けた主なイベント

■函館マラソン ■はこだてグルメサーカス ■はこだてグルメサーカスなど

4. 青函圏観光都市会議の創設

青森、弘前市、八戸市、函館市の4市が観光エリアを形成することで、観光地としての点ではなく面でとらえ、競争力を高めている。

5. 役所に観光部観光課が設置されている

観光部、企画部が中心になり、市の活性化に向け企画立案を行っていることが大きい。

6. 少子高齢化と高齢者対策の課題解決に向けた地域活性化の取り組み

函館市の発展に寄与し、高度成長を支えた高齢者の方々は、全体の32%を占めており、その対策が急がれているが、いつまでも元気で住み慣れた地域で、みんなと暮らせるよう函館市は、平成22年から国のモデル事業として、市内6か所（あさひ、こん、厚生院、西堀、よろこび、社協）に設置している地域包括支援センターの主催による、地域課題の発見・検討を目的とした地域ケア会議の開催に取り組み、これまで切れ目なく今日まで継続して開催している。また平成25年からは、地域包括支援センターの主催による個別のケースが抱える課題を解決するための機能をもつ地域ケア会議の開催に取り組みはじめており、生産人口だけでなく高齢者人口も一緒になり、中核市＝函館市を市民全体で活性化させようとしている。「ご高齢者が元気に働くまち」としても国内外に広報し推進を図っている。

7. 所感：

市の抱える課題、地域の抱える課題、町内会の抱える課題を、それぞれ行政の企画部、観光部が中心になり、RESAS＝地域経済分析システムによる分析が行われ、それに基づきポスト新幹線時代のまちづくり＝経済再生プロジェクト、魅力向上プロジェクトなどにより交流人口の拡大、新たな魅力の創出に向け、陸・海・空の交通網の充実を目指している。細部においては、課題はブレインストーミングにより、アイデア、意見を整理・序列化し、KJ法（問題を明確化）を用いてできるだけ意思統一を図れるようにしており、この取り組みこそが、地方、地域の連携の基となっている。

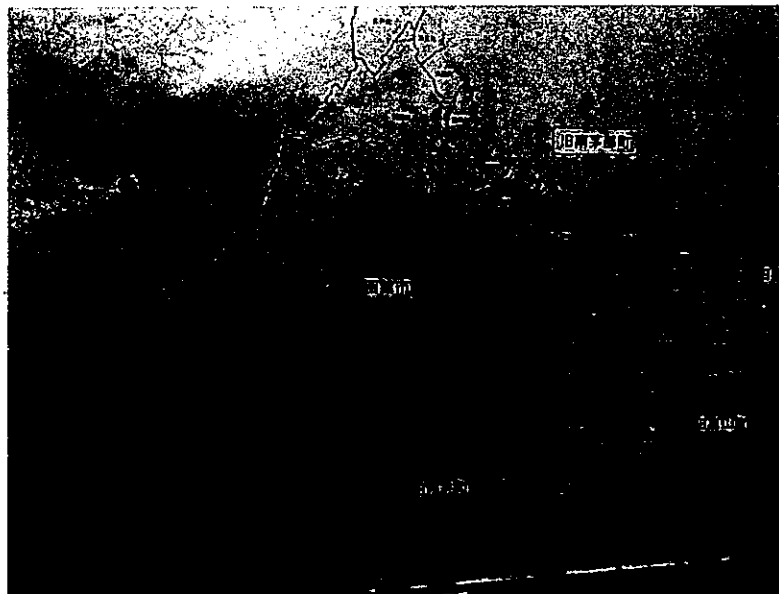
函館を中心に東北地方・道内連携を強力に進めていけるのは、優れた人材とともに、企画部のほか、観光部の存在が大きい。

茅ヶ崎市においては、圏央道の開通による交流人口の増大が期待されところではあるが、小田原方面、鎌倉方面への要所として先ずは、茅ヶ崎を回遊してもらうためには

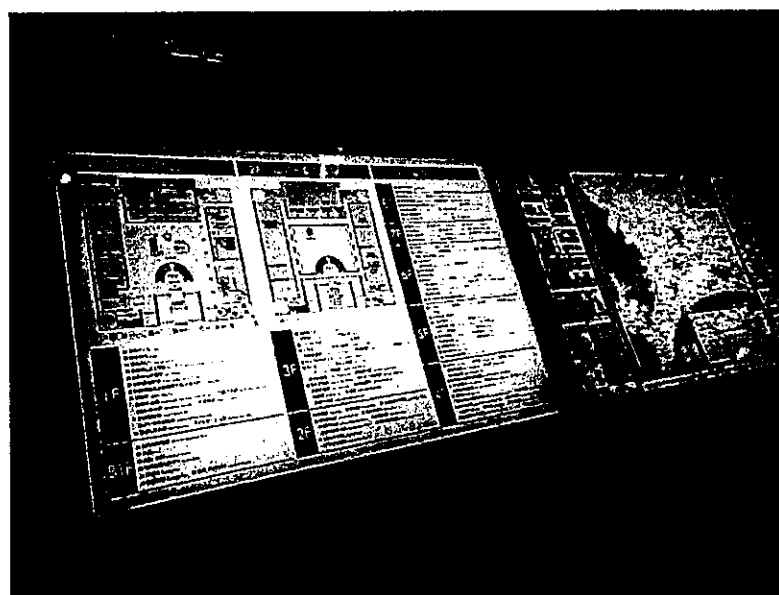
1) 専門性を持った人材確保 2) 観光課の創設など組織力をさらに高める 3) 近隣市町との地域連携 4) 市のイベント広報活動 5) インフラ整備（道の駅など）などを整備する必要がある。

最後に行政の担当者の「問題点を置き去りにしない」熱意、使命感といったものが強く感じられた。茅ヶ崎市に於いても、こうした取り組みを参考に、行政、地域、民間業者が連携して課題の解決に取り組んでいくことが重要であり、そのことが将来の茅ヶ崎市の活性化に繋がると確信するものである。

函館市（渡島半島）地図



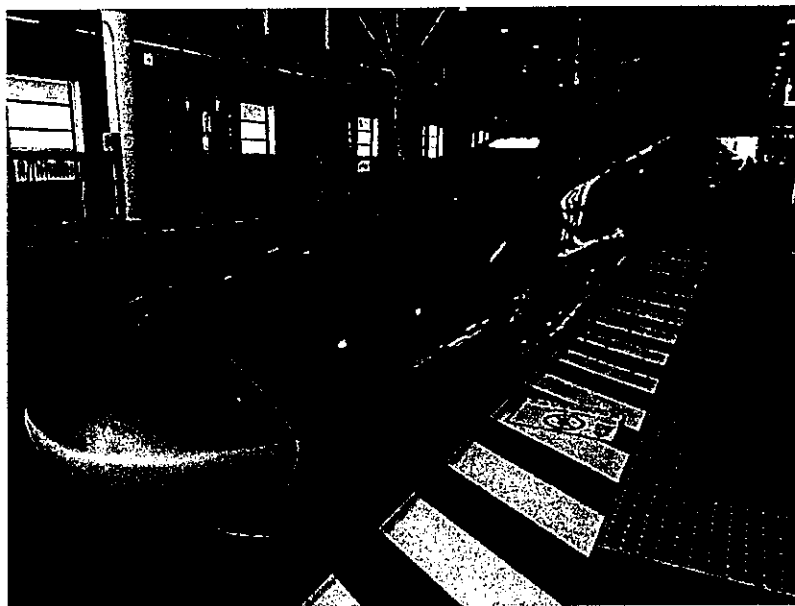
函館市役所
1階案内図



ヒアリング中



新函館北斗駅



新函館北斗駅



政務活動報告書

平成29年11月13日

茅ヶ崎市議会議長
白川 静子 様

(会派名) 自由民主党茅ヶ崎市議団

(氏名) 水島誠司 永田輝樹
広瀬忠夫 岩田はるみ
小島勝己 水本定弘
小川裕暉

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	平成29年11月8日(水)～10日(金)
目的 地 (研 修 地)	沖縄県立武道館 (沖縄県那覇市)

政務活動の結果 (別紙のとおり)



自由民主党茅ヶ崎市議団都市問題会議報告書

参加者 水島誠司 永田輝樹 広瀬忠夫 岩田はるみ
小島勝己 水本定弘 小川裕暉

参加日時：平成 29 年 11 月 9 日・10 日

会場：那覇市 沖縄県立武道館

第 79 回全国都市問題会議

テーマ「ひとつながり都市の魅力と地域の創生戦略」

—新しい風をつかむまちづくり—

全国市長会が主催する第 79 回全国都市問題会議に自由民主党茅ヶ崎市議団 7 名で参加した。今回の都市問題会議では観光を目的とした訪日外国人の増加、国内の地方移住という田園回帰といわれる若者を中心としたライフスタイルの変化、ツアー観光から体験型、滞在型への変化といった人の動きの活性化について主に触れられていた。超高齢化、人口減少社会を迎える中でどれだけ活性化したまちづくりができるのか、基調講演、研究事例などそれぞれ聞いた。基調講演では江戸時代の町の多様な発展をもたらした参勤交代で国元にもたらした影響などを拝聴した。主催地である那覇市の市長からは那覇市の課題と取り組みについてでは近年の外国人観光客の増加で中心市街地の店舗やホテルの売り上げは伸びているものの地元住民の足が遠のいていることで新たな取り組みを進めていくという。

市長からはアジアに開かれた市として国内外から新しいモノやコトの付加価値を生み出し万国津梁の那覇市を目指していきたいと報告があった。

一般報告では、東京一極集中の問題点、人口減で起こる財政難について報告があった。同じ地方自治体の中で限られた財源の中、インフラやサービスをすべて維持するのは至難のわざである。人口が集中する地帯ばかり整備が進み、過疎地帯には予算は付かなくなる可能性も考えられることから適正な規模と配置で安定的な維持が最大の課題とのことであった。

パネルディスカッションではそれぞれの分野から招かれた方や勝山市長、島田市長からこれまでの報告も含めて進められた。

本市の少子高齢化社会に向けた取り組みはかなり進んだ取り組みがあることが分かった。一方で観光については今後もシティセールスを行う必要がある。地域の創生戦略の中、魅力的な都市といわれる「経済的魅力」「生活的魅力」「文化的魅力」「社会的魅力」について本市には大きな可能性がある。

